

岐阜県の プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第75号

恒例の新年懇親会を開催

中部未来博への出展で推進委を組織

62年度税制改正・中小法人税引き下げ

新製品を追う①

全国業界ニュース

デザインのすすめ

組合員の工場訪問

事務局だより



恒例の新年懇親会で記念撮影する組合員

『売上税はどんな税』所さん

恒例の新年懇親会開き講話を聞く

奥村さん 『米国の航空関係事情』

岐阜県プラスチック工業組合は、1月24日午後、岐阜県庁前の藪田会館で開いた理事会のあと、恒例の新年懇親会（表紙の写真）を開催した。とくに懇親に先だち天龍工業常務の奥村勝さんと所会計事務所長・公認会計士の所直夫さんの二人を招いて講話を聞いた。奥村さんは『航空関係事情—私のアメリカ見聞記』また所さんは『これからの税務対策—売上税について』で、それぞれ熱のこもった話があった。

理事長は『厳しい環境』訴える

毎年、恒例となった懇親会と講話は『この新年は不況克服の年とか、後半から景気が回復する年と言われてきたが、円高の定着、売上税の登場などから先行きは混んとしてきた』と前置きして『時代の変化に対応した企業経営』の重要性を呼



売上税を解説する公認会計士の所さん

びかけた。続いて奥村、所両氏の講話に入った。

自由さが業界を広げる 日本と米国の航空事情の違い

奥村さんが常務取締役として経営参加される天龍工業は、FRP成形を中心に航空機産業に携わり、工組では異色の組合員企業。奥村さんは仕事柄、米国の航空業界を見聞する機会に恵まれているが、次は訪米した際の話。

『米国の航空産業が世界のトップレベルにあ

るのは、米国の自由さが幸わいたといえる。というのは、航空機に関する許認可をはじめ物事のすべてが、日本では厳しすぎ、航空機産業の広がりや発展にブレーキをかけている。例えば、米国では飛行機の利用がタクシーなみで、しかも、操縦も自動車を運転するようなもの。日本では航路を少しでも変更するにも運輸省の許認可が必要で、米国のような自由さはどこにもない。ましてや航空機生産の際に設計変更するには、テストや立ち合い検査などと、なかな

かOKにはならない』と話す。

奥村さんはさらに『米国の場合、飛行機会社は何百機をもつ大企業から1機だけという零細企業までいろいろ。乗るときも、電話をかけておくだけで、タクシーを利用するのと少しも変わらない。訪米したとき、日米の航空事情に大きな差異があると感じたことは、ハワイのキラウエア火山が爆発したときのことだった。私は思い出に、火山を見たいというと、すぐ飛行場へ連れていってくれ、100ドル払うと火口付近を約40分間も巡回し、爆発の状況を存分に見ることができた。この時ほど、米国の自由さが米国の航空機業界の広がりや発展のカギであると



米国の航空事情を話す奥村さん

思ったことはない』とも話すなど、航空機産業を取り巻く話題に熱をこめて話した。

税額の計算は 3ヶ月ごとに売上げの5%

続いて『これからの税務対策—売上税について』をテーマに、所公認会計士から講話を聞いた。この売上税は税制改革の目玉になるものであるが、流通業界をはじめ中小産業界や各団体から反対運動が巻き起っている。

反対理由は①自民党の公約違反②実施されると個人消費の減退を招く③中小企業や流通業の経営を圧迫する—などをあげることができる。所さんは『売上税は政治や社会の大きな問題とされ、議論されているので、内容については国会審議が終わらねば判らない点が多い。しかし企業経営者には非常に関心が高いので、これまでに知り得た部分を解説したい』として、次のように売上税を紹介した。

『この売上税とは、もとは日本型付加価値税と呼ばれていたもの。一口にいうと、物品・サービスの売上げにかけられ、その負担は物品・サービスの値段に含め、消費者が最終的に負担するので、消費税の一種でもある。納めるのは物品やサービスの売り手であるメーカー、卸売

業者、小売業者、サービス業者などで、とうぜんプラスチック成形加工業者も対象となる。ただし、年間課税売上げ1億円以下の事業者は納税義務が免除される』

『しかし、納税義務が免除される年間売上げ1億円以下の事業者でも、親企業との関係から望めば納税義務者になることもできる』

『また、税額の計算を簡単にいうと、3ヶ月ごとの売上げに5%をかけ、売上げに対する税額を算出する。その金額から同じ期間内の仕入れについて受け取った税額表に記載されている税額の合計額を差し引いたものが、実際の納税額である。この仕入れは商品の仕入れのほか、事務用品の購入や設備投資など、事業のための購入はすべてが含まれる。売上税の納税義務者は売上げにかけられる売上税の額から、仕入れに含まれている税額を控除できるから、取引回数が増えても重複して課税されることはない』とも説明したが、国会審議の動きが注目される。

中部未来博への出展で推進委を組織

「工組創立20周年をかね企画を練る」

当工業組合は、昭和63年が工組創立20周年に当たることから、ちょうどこの年に開催される「ぎふ中部未来博」へ出展参加する計画でいる。

その出展構想を練るため2月7日、推進委員会（委員長＝武藤昭三副理事長）を組織した。委員会は2月23日にも会合を開いたが、早急に①出展への推進方法②出展構想③資金計画などの基本計画をまとめることを決めた。

未来博への参加は、博覧会協会が会場内に建設するパビリオンに県内7大産業が中心となって「伸びゆく岐阜県産業」をテーマに合同出品するもので、このほど開いた県産業連盟で1産業100平方メートル以上を出展する方針が決った。7大産業の一角を担うプラスチック業界としては、「工組創立20周年」という輝やかしい年でもあることから、記念事業をかね出展参加の方向で出展準備に入ったものである。

工組は推進委員会がまとめる基本計画をもと



ぎふ中部未来博は開催まで一年半へと迫った

に理事会、総会でさらに検討を加え、プラスチック業界の未来博出展企画とし、実現していく方針である。

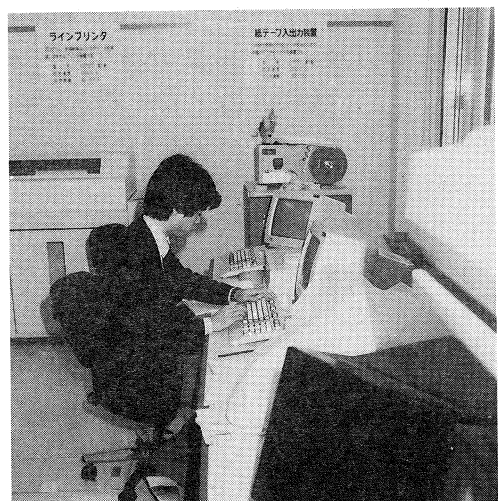
電子応用技術開放試験室

県工業技術センターに完成

岐阜県工業技術センターにCAD/CAM施設を中心とした『電子応用技術開放試験室』を新設、運用開始した。近年のFA化に伴い、製造部門はもとより企画設計部門のコンピュータ化を推進するのがねらい。

利用時間は9時から17時までで、土曜日は午前中。希望は同技術センター技術振興部（電話05838-8-3151内線28）へ。

なお、同技術センターでは定期的に基本コース、応用コースに分けて研修会も行っている。



運用開始したCAD/CAM施設

新役員と新事業計画決る

プラスチック技術研究会の総会

岐阜県プラスチック技術研究会の第10回総会は、2月18日午後、岐阜市内にある岐山会館で開催した。総会は61年度事業報告及び決算報告、62年度事業計画及び収支予算案を承認したあと任期満了に伴う役員の改選を行い、会長に大

松幸栄氏、副会長に武藤良雄、児玉俊一両氏、委員に武藤昭三氏ら七氏、監事に日比正隆、浜野喜一両氏、会計後藤千秋氏、さらに顧問には大野繁俊氏ら6氏を再選した。

なお、62年度の事業計画は研究会（講演及び討論会2回と見学会）参考資料の配布、県工業技術センターとの共催事業などで、これに必要な予算は総額105万3千円を予定している。

ベルコンミニを3割引で

オークラ製のコンベヤを斡旋

工業組合はオークラ輸送機と業務提携し『ベルコンミニ』をはじめとするプラスチック成形品など小形、軽量用に開発されたコンベヤシリーズの各種製品をあっせんする。とくにプラスチック業界は取り出し作業の省人化・無人化を推進するには欠かせないのがコンベヤで、オークラ輸送機ではベルコンミニをはじめローラーコンベヤ、コーナーコンベヤ、テーブルベルコ

ン、斜行リフターなど各種のコンベヤを発売している。

とくにベルコンミニは、アルミ製の軽量ポータブルタイプで高さ、長さを自由に調節することができる。ベルト幅は5センチから30センチまで7種類、タイプも7種類。価格は9万8千500円から22万1千円までで、あっせん価格はカタログ価格から3割引。申し込みは事務局まで。

地域経済の活性化を図る

構造転換円滑化法を立法化

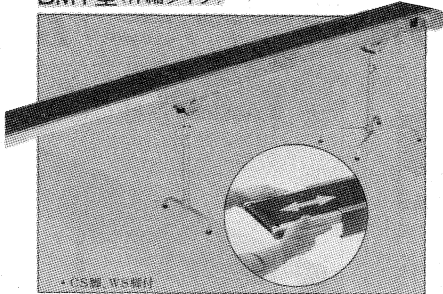
通産省は、わが国の産業構造を国際協調のとれた構造に転換するため、開会中の国会で『産業構造転換円滑化臨時措置法案』を新規立法化する。新法の骨子は、個別企業ごとの構造転換を促進する事業者対策と、これらの構造転換に伴い大きな影響を受ける地域の経済活性化などを推進する特定地域対策の2本柱とし、それぞれに金融、税制面で支援措置を講じていく。

岐阜駅前に求人求職の3機関

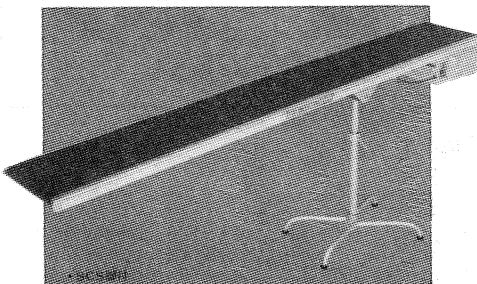
労働省の岐阜人材銀行と岐阜県学生職業情報センターは、岐阜市吉野町6-14にある三井生命岐阜駅前ビル3階へ移転、業務を開始した。

同ビルには岐阜パートバンクがサービスを開始しており、これで求人・求職関係の3機関がそろってサービス開始した。

BMT型(伸縮タイプ)



SBM型(スタンダードタイプ)



中小法人税率を引下げる

昭和62年度の税制改正

事業転換の促進で優遇税制も

昭和62年度・税制改正の要綱が決定し、開会中の国会審議をへて4月から順次、実施に移される。内容的には所得税の軽減合理化、法人税の税率引き下げを行うとともに、物品税等の個別消費税制度を改め

売上税を創設する。

また、非課税貯蓄制度の見直しを図るほか、賞与引当金の廃止、有価証券取引税の見直し、登録免許税の引き上げなどの措置を講ずるとしている。

中小企業関係税制で、毎年注目されるのは中小法人の軽減税率。現行の留保分は31%であるが、62年度は30%、63年度は29%、64年度以降は28%となる。

しかし、配当分については現行の25%から62年度は26%、63年度は27%さら

に64年度には28%へと段階的に引き上げられることになる。

このほか国税関係では、中小企業の事業転換を円滑にするため特定地域中小企業対策臨時措置法制定に伴う税制を整備したほか、中小企業等基盤強化税制を創設した。また、期限が到来する特別措置の延長では、中小企業者の機械等の特別償却制度（取得額の14%）がある。

◎ 所得税の税率

現 行			昭和62年分			昭和63年分以降		
適用課税 所 得	税率		適用課税 所 得	税率		適用課税 所 得	税率	
50万円以下 の金額	10.5%		50万円以下 の金額	10.5%				
120 "	12%		120 "	11%		120万円以下 の金額	10%	
200 "	14%		200 "	14.5%				
300 "	17%		300 "	16%				
400 "	21%		500 "	20%		500 "	15%	
600 "	25%		700 "	25%		700 "	20%	
800 "	30%		800 "	30%				
1,000 "	35%		1,000 "	35%		1,000 "	30%	
1,200 "	40%		1,200 "	40%				
1,500 "	45%		1,500 "	45%		1,500 "	40%	
2,000 "	50%					1,500万円超 の金額	50%	
3,000万円以下 の金額	55%		3,000万円以下 の金額	50%				
5,000 "	60%		5,000 "	55%				
8,000 "	65%		5,000万円超 の金額	60%				
8,000万円超 の金額	70%							

■法人税率引下げの改革案の概要(単位：%)

	現 行	改 革 案			
		62年度	63年度	64年度～	
普通法人の税率	留保分	43.3	42	40	} 37.5
	配当分	33.3	34	35	
中小法人の軽減税率	留保分	31	30	29	} 28
	配当分	25	26	27	

◎ 石化製品、円高でも輸出増 ◎

通産省によると、61年の石油化学製品のエチレン換算輸出入実績は輸出が59万6,500トン、輸入が62万2,600トンで入超となった。円高にもかかわらず輸出の伸びが輸入増を上回り、入超幅は大幅に縮小した。

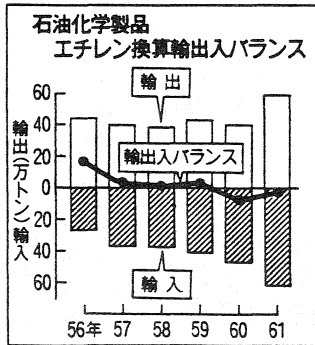
エチレン換算の輸出入バランスは、60年に初めて入超に転じた。61年は円高やサウジアラビア製品の本格上陸で入超幅は10万トン以上に拡大するとみられていた。しかし、東南アジア市場を中心に石化製品の需給がひっ迫傾向となり

ポリエチレン、塩ビポリマーなど誘導品の輸出が予想外に伸びた。

これに加えてエチレンそのものの輸出が8万1,000

61年の汎用樹脂輸出入実績
(単位トン、カッコ内は前年比増減率%、▲は減)

	輸出	輸入
○ 低密度ポリエチレン	81,974 (16)	91,594 (60)
○ 高密度ポリエチレン	238,774 (28)	15,261 (169)
○ ポリスチレン	214,404 (37)	32,610 (98)
○ ポリプロピレン	122,047 (12)	10,052 (▲10)
○ 塩化ビニール樹脂	120,448 (72)	179,068 (66)



トン(前年の4.9倍)も急増した。主としてエチレン生産が川下の需要に追いつかない韓国からの応援要請にこたえたためである。

◎ 人口当たりの工場に3市も ◎

人口100人当たりの工場数の全国ベスト・テンに岐阜県から土岐・関・美濃の3市も入っている。トップは新潟県の燕市。食卓用ナイフやフォークなど金属洋食器の産地。3位に入った土岐市は美濃焼の産地で、茶わんなど陶磁器工場が集まるところ。4位の大川は全国有数の家具産地として知られる。5位の鯖江市は眼鏡フレーム、7位の西脇市(兵庫)は播州織、8位の関市は刃物をつくって発展してきた。

もっとも、人口当たりの工場数は必ずしも工

人口100人当たり工場数

- ① 燕(新潟) 2.246
 - ② 八潮(埼玉) 1.560
 - ③ 土岐(岐阜) 1.533
 - ④ 大川(福岡) 1.351
 - ⑤ 鯖江(福井) 1.348
 - ⑥ 戸田(埼玉) 1.277
 - ⑦ 西脇(兵庫) 1.131
 - ⑧ 関(岐阜) 1.085
 - ⑨ 碧南(愛知) 1.075
 - ⑩ 美濃(岐阜) 1.072
- (注)昭和59年、従業員4人以上

業力の強さにはつながらない。人口が伸び悩み、家内工業的な色彩の残る地域ほど工場が多くなる傾向があるからだ。人口当たりの工業出荷額は工場数の多い大川、土岐、西脇が全国平均を下回る。

TOSHIBA

東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市東区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

山城精機 製作所 ユーザー志向に徹して開発

大手企業の市場支配が進む中、それと対等に健闘している中小メーカーも少なくない。立型射出成形機の専門メーカーである山城精機製作所もその一つで、成形用金型を含めた射出成形機のハードと、その利用技術であるソフトを組み合わせた「システム技術」によって、多様化するユーザーニーズに個別に対応、独自の市場を形成している。

成功した液状樹脂の射出成形機

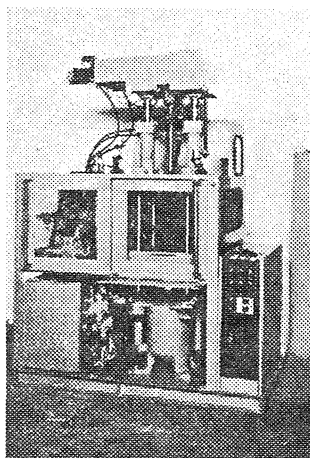
昨秋、東京で開かれたプラスチック見本市に出品し注目された液状樹脂射出成形機「LIMシリーズ」も、こうしたユーザーオリエンテッドの商品開発姿勢が受け継がれている。この機種はシリーズとして体系化して以来、すでに3年を経過するが、現在でも年間20～30台をコンスタントに販売する。市場は限定されるが、その占有率は60～70%にのぼるとみられる。

この機種の特色は、シリコンゴムなどの液状樹脂成形品の利用が技術的に、また、コスト面から模索されていた昭和50年代後半に計画のほり、その後OA（オフィスオートメーション）

機器などの機能部品の素材として、液状樹脂の利用が加速するのと歩調を合わせるかのように射出成形機としての完成度を高めてきた。

用途の新分野開拓は広まる一方

というのは液化樹脂はファクシミリや複写機のローラーの素材として、面の細かさや耐熱性などから注目され、その成形技術の高度化に樹脂メーカーやOA機器メーカーと一体になって取り組んだというわけ。用途開発はまだ緒につ



液状樹脂射出成形機「LIMシリーズ」

いたばかりだが、従来のOA機器向けの市場開発と同様に、関連メーカーを巻き込んだ共同体制で、新分野開拓が進もうとしている。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX®
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバドール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン **NOVATEC NOVATEC-L**

高圧ポリエチレン



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

デザインを売る

今回から「C I」から少し離れ、デザインが「売る」ことを前提にした「戦略的設計行為」であると考え、必要な消費者動向資料を提供していきたいと思えます。

最近のヒット商品と呼ばれるものは、“ファミコン”、“TDL”、“α7000”、などレジャー関連のものが多く、他分野製品へも「あそびどころ」や「おしゃれどころ」をポイントにするといった形で影響を与え、「レジャー・遊び」への消費者意識の高まりをみることができまが、JNNデータバンク資料の中から、こうした意識を規定している因子をさぐり、今後の製品開発のデザイン（戦略設計）に付加することを考えてみたい。

NHK世論調査の「国民生活時間調査」によれば日本人の「余暇行動時間」の伸びは1975年をピークに以後下降気味であるが、「余暇行動時間」全体に占める「レジャー活動」の割合は75年から85年にかけて平日が10→11→15%、土曜12→15→18%、日曜20→20→25%と確実に上昇しつつあります。

このことから、余暇時間を積極的に楽しも

うとする傾向がわかりますが、その背後にある三つの主な因子を報告しておきます。

〈第1因子〉 中年男性娯楽因子

「パチンコ」「自宅で酒を飲む」「ゴルフ」「競馬」「酒場等に行く」「マージャン」「つり」などで高い負荷量を示す因子。

これは言うまでもなく男性、特に働きざかりの典型的なサラリーマンのレジャー意識を表わしています。

〈第2因子〉 ヤングレジャー因子

「テープなどで音楽を聴く」「映画を観る」「スキー」「ボウリング」「テニス」「スポーツクラブ」など、男女ともに楽しめるといった点を特徴にしたレジャー意識です。

〈第3因子〉 女性因子

「ドライブ」「ウインドーショッピング」「遊園地・動物園に行く」「国内旅行」「雑談」と、若い女性が好みそうな余暇の過ごし方を示す因子です。

マーケティングの傾向として最近は、かなりターゲットを特定化する動きもありますが、もっと大きな目で大局的に市場を把握しながら次のステップでの戦略を考えたいものです。

(岐阜県工業技術センター技術振興部)

出光

の石油化学製品

◎取扱品目

ポリスチレン

低密度ポリエチレン

高密度ポリエチレン

ポリプロピレン

カルブ®

ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111

名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号(日土地名古屋ビル5F) 〒460 ☎ 052-231-8611

付加価値高め円高余波はね返す

三和プラスチック

今回の工場訪問は、円高不況の中心地、関市にある三和プラスチック（関市春里町3-2-22 吉元弘社長、資本金500万円）を訪ねた。工場は国道248号線沿い、関高校の西方にあり、一見して住宅風。約1,000平方メートルの工場用地に2棟に分かれて建つ。

工場施設は15台の小形成形機を中心にホットスタンプ15台、塗装機、研磨機、つや出し機など。成形製品が刃物や爪切りの装飾用プラスチック部品が主力だけに小型の機器が多い。

圧縮成形から射出成形へ代わる

社長の吉元さんに『会社の生い立ちは…』と



製品開発について話す吉元社長(左)と古田専務(右)

たずねると『創業は昭和35年。現在の貝印刃物が三和刃物と呼んでいたころ、大阪の住田樹脂と三和刃物が折半出資した成形会社。当時は今のような射出成形機はなく、手動式の圧縮成形を何台も並べ、根気よく手作業で刃物などの柄や飾り（上張り）を生産した』という。樹脂も当時は扱いにくい熟硬化性のユリア樹脂やメラミン樹脂で、現在は透明度の高いアクリル樹脂に印刷や彩色を施し、美しくデザインしている。

生産した爪切りや栓抜きなどの飾りの種類は数え切れず、数千種類にのぼるといふ。近年は生産余力も増え、洋食器の柄や塩ビのケース類を生産、今後はさらに伸ばしていく方針である。

この関の刃物産地は、昨年からの急激な円高の影響を受け、輸出関連業者はかなりの痛手。県の調べで成約状況は、前年に比べ30～40%減、受注残1カ月で、例年の4カ月を大きく割り、受注内容も小口化、短納期化し、人員整理をする企業が増えてきたという。

新潟産地から洋食器の柄を受注

幸い三和プラスチックは、主力企業の貝印刃物が早くから内地向けに専念してきたこともあって円高の余波は『ほとんど感じられない。むしろ、技術が買われ、新潟産地から洋食器生産が舞い込み、気をよくしている』と話す。

これからの関産地の生きる道は『もう価格競争の時代ではない。アイデアやデザインの良さを発揮、付加価値を高めること』が大切という。とくに『明年に迫った中部未来博への出展参加には大賛成で、何らかの形で参加したい』と専務の古田さんと共に意欲を見せる。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

△5月25日にサンピア岐阜で総会△

62年度の新事業計画や事業予算を決める工組の第19回通常総会は、5月25日、サンピア岐阜で開催予定しております。当工組は昭和43年6月に設立し、明年は創立満20年を迎えます。今年はその輝やかなしい記念の年の前年に当たります。このため今年には創立20周年記念・準備の年として、種々の記念行事を企画立案していく年です。組合員の方々、一人でも多く総会に出席され、企画立案に参加してください。

△自動車ローンを利用してください△

自動車は年々高くなり、購入資金はどうされていますか。工業組合では県内金融機関、自動車ディーラーと提携し『自動車ローン』を実施しています。金利も5.5%(アドオン)と安く手続きも簡単、これまでに188台、総額2億2千万円もの利用がありました。

とくに今年度からは共済事業として、組合員企業だけでなく従業員の方々にもご利用いただけるよう拡充、自動車ローンの他に家電製品、

健康器具、保健薬なども取扱っております。

△コンピュータとファックスが活動△

工業組合事務局に、地場産業活性化対策事業としてコンピュータとファクシミリを新設、利用開始しております。コンピュータは富士通製のパソコン9450Σとファクシミリはキャノファクス730で、産業会館へ来館のおりには、一見してください。とくにファクシミリはすでに組合員企業を回線で結び、業務連絡通信にあてております。受信、送信状況はいかがですか。また、コンピュータは組合員の販路拡大のためにデータベースシステム(組合員企業の事業台帳のコンピュータ化)をつくり、ファクシミリと連携活用することにより情報収集と提供の即時処理を図っていきます。

岐阜県のプラスチック 1987 75号

昭和62年3月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

FAX (0582) 76-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタクリルシート

スミペックス®

メタクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友®TPE

合成ゴムSBR

住友®SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)

信越シリコーンなら

ではの、**離れ技**。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性です。型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511 (代)

射 先 の 代 時

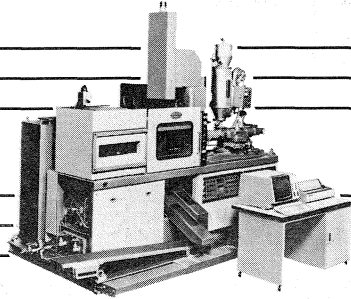
プラスチック射出成形専門技術で確かな明日に貢献します。

コンタクトレンズから人工心臓まで
医療に役立つプラスチック

高度情報化社会の推進者、
エレクトロニクス&プラスチック

プラスチックが貢献する
ニューメディアの実用化

未来の交通を変える
軽くて強いプラスチック



高精度で小型、軽量、そして低コスト…すでに当り前となったエレクトロニクス製品。これらを可能とした背景にプラスチックは欠かせません。しかも、ニューメディア、バイオテクノロジーなど、今後社会を主導する分野では、ますます精度の高いプラスチック製品が求められてきます。射出成形機の専門メーカーとして実績を誇る日精樹脂は、信頼性の高い射出成形機、マイコンをいち早く導入した制御システム、総合的なシステム成形など、先進の技術で常にプラスチック業界の要望を叶えています。より深い専門技術とより広い応用技術で、今後もプラスチックの新しい利用価値を提供してまいります。

今日の課題を解決し明日の可能性を拓く
テクニカルセンター
先実したデータ処理システムや計測機器を完備したテクニカルセンター
成形品の試験やソフト技術開発を行うとともに、顧客の立会試験にも利用されています。

NISSEI 精密射出成形機世界のトップメーカー
日精樹脂工業株式会社

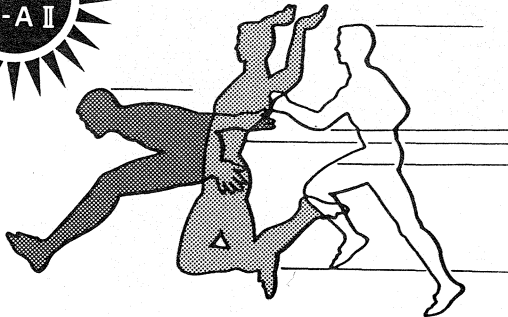
岐阜出張所 〒500 岐阜県岐阜市西郷寺屋敷3-40番ビルF ☎(0582)72-5952
本社・工場 〒389-06 長野県坂城町 ☎(0268)82-3000(大代表)
営業所 東京/大阪/名古屋/長野
出張所 全国34ヶ所 海外サービスステーション25ヶ所(21ヶ国)



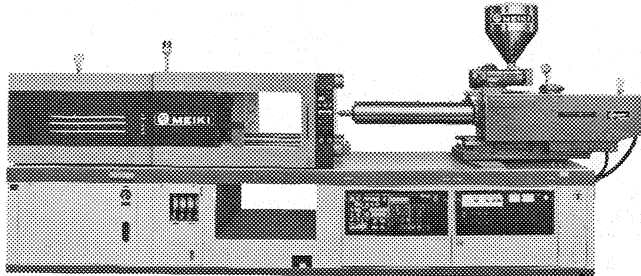
ホップ ステップ

ジャンプ

機能倍増・デザイン一新



- サイクル精密アップ
- F A化へステップ
- 品質向上・省エネ化
- 人間第一の操作と安全性



M-150A II L-DM

名機製作所

〒474 愛知県大府市北崎町大根2
☎<0562>48-2111(代)
東京支店 ☎<03>221-7731(代)
中部支店 ☎<0562>47-2391(代)
大阪支店 ☎<06>386-2151(代)
関東営業所 ☎<0284>91-0816(代)
北陸営業所 ☎<0766>24-1012(代)
静岡営業所 ☎<0542>57-0312(代)
広島営業所 ☎<082>283-7941(代)
九州営業所 ☎<092>863-7197(代)

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

発見と発明

ゆたかな生活環境をクリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を...



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 千103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(022)166-1525



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂／板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂／射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

NOBLE
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮